

|     |          |     |                       |    |    |     |   |
|-----|----------|-----|-----------------------|----|----|-----|---|
| 科目名 | 日本文化論特講Ⅱ | 担当者 | ヤマザキ<br>山崎 マキコ<br>真紀子 | 期間 | 通年 | 単位数 | 4 |
|-----|----------|-----|-----------------------|----|----|-----|---|

【科目概要】

|                             |   |      |   |
|-----------------------------|---|------|---|
| 目的                          | <p>明治期から現代までの近現代文学を学ぶことで、豊かな知識を養い、論理的かつ批判的思考力を涵養することを目的とする。</p> <p>I. 小説の書かれた時代を理解し、当時の政治・経済・文化の交錯の上に成り立っていることを自ら調べて学ぶことができる。【A-1:4】</p> <p>II. 小説を読むうえで、断片的な出来事がどのような時間配列のもとで物語が構成されているかを自ら考えることができる。【A-3:4】</p> <p>III. 日本近現代文学作品をレトリックや表現の緻密さに留意し分析的に読む力を自ら切り開くことができる。【A4:4】</p> <p>IV. 以上の目的を踏まえて、自らが立論し論文としてまとめることが出来る。【A8:4】</p>  |      |   |
| 到達目標                        | <p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>日本近現代文学作品が書かれている内容を正確に理解し、書かれた時代背景、文化を把握し、なぜその場所、時代、言葉が選ばれているのか一つ一つ丹念に掘り下げて考察することを身につける。それを論文としてまとめられる力を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>多種多様な文学作品に触れることで、語彙力を増やし、人に正確かつ分かりやすく伝えるための言語の力を応用する。(知識)</p> <p>言葉の配置や文体、比喩を駆使して論理的かつ人を引き付ける文章を書く力を形成する。(技能)</p> <p>文学作品の解釈を通して異なる考えを持つ他者とコミュニケーションする。(態度)</p>  |      |   |
| 学修方略(方法)<br>【(LS)】と<br>学修時間 | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>manaba folio のコレクションを利用して、インタラクティブな個別指導を受ける。</li> <li>図書館、インターネットで自立的に論文を検索して、自主研究しレポート作成する。</li> </ul> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>教材を熟読し、先行研究論文を読み、そのうえで自分の読みのオリジナリティの上に立ち、自らの解釈を論理的に説明するレポートを 3000 字程度で書いて提出する。添削を受けて完成させる。(自習、自主研究、レポート作成)</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学修項目：教科書にある小説を三度繰り返し読む。</p> <p>準備学修時間：50 分</p> <p>なお、レポート 1 本あたり以下の学習時間が必要となる。教材の学修：15 時間      レポート執筆：15 時間<br/>レポート推敲学修（教員の添削指導を含む）：15 時間      最終稿の完成：15 時間</p> |      |   |
| スケジュール                      | <p>前期：教材 1 のレポート課題（1）締切：6 月 15 日（初稿） 前期締切日（最終稿）。<br/>レポート課題（2）締切：8 月 15 日（初稿） 前期締切日（最終稿）。</p> <p>後期：教材 2 のレポート課題（1）締切：11 月 15 日（初稿） 後期締切日（最終稿）。<br/>レポート課題（2）締切：12 月 20 日（初稿） 後期締切日（最終稿）。</p>   |      |   |
| 成績評価                        | 種別  | 割合   | 評価基準  |
|                             | レポート  | 80 % | <p>教材の精読と理解 30%</p> <p>自らの論説の妥当性と説得力 30%</p> <p>学術論文としての体裁、適切な引用がなされているか 20%</p>  |
|                             | 観察記録・試験   | 20 % | <p>メール、manaba 等を活用して、主体的に自らの疑問を解決することができたかどうかを問う試験を行う。</p> <p>ただし、通年 30 コマのうち 1/5 以上欠席相当と判断した場合、成績評価は 0～60 点とする。また、追・再試験の受験資格は与えない。</p> |
| 履修者への要望                     | <p>基本教材に掲載されている作品は、なるべく多く繰り返し読むこと。レポート作成にあたっては、先行研究論文を国文学研究資料館のHPやCiniiなどのデータベースを用いて検索して読み、場合によっては公共図書館を活用し資料の入手につとめるなどして、多くの研究論文に目を通しことが望ましい。そのうえで自分が気付いた「発見」を大切に立論し、客観的に論証できるように努める。添削は何度でも受け、完成度の高いものを仕上げしてほしい。</p>  |      |   |

【レポート課題】

| 基本教材 1   |   |
|----------|---|
| 教材の概要    | 著者名： 東郷克美・高橋広満編<br>教材名： 『〈異界〉文学を読む』（鼎書房、2017年2月）<br>ISBN978-4-907282-29-5 2000円＋税   |
|          | 〈異界〉をキーワードにして編まれた、15人の作家の短編小説が省略なく全編掲載で載っている。明治20年代から始まる明治期の文学作品、大正期、戦前・戦後の昭和の15編の短編小説を理解しやすいように解説も施され、先行研究リストも記載されている。   |
| 参考図書     | 『日本国語大辞典』（全13巻、小学館、2006年4月）などで、適宜、言葉の意味と用法を調べること。   |
| 履修上のポイント | 日本近代文学を精緻に読みこなすために作品に多く触れてほしい。教材は優れた短編作品が厳選されているので、何度でも繰り返し読むこと。解説や参考文献リストも参照して理解を深める一助とすること。作品を精読し分析して問題を発見し、それをレポートで表現していくように助言と添削を受けるようにすることが履修上ポイントである。     |
| レポート課題 1 | 教材に掲載されている泉鏡花、永井荷風、佐藤春夫、芥川龍之介、谷崎潤一郎、梶井基次郎の作品の中から1作品を選び、作品にこめられた〈異界〉の意味について2000字～3000字で論じなさい。<br><b>留意点：</b> 作品は〈異界〉を通じて、何を表現したかったのかに留意すること。                     |
| レポート課題 2 | 教材に掲載されている夢野久作、江戸川乱歩、太宰治、萩原朔太郎、岡本かの子、井伏鱒二、中島敦、川端康成、井上靖の作品の中から1作品を選び、作品にこめられた〈異界〉の意味について3000字～4000字で論じなさい。<br><b>留意点：</b> 作品は〈異界〉を通じて、何を表現したかったのか、また語り方にも留意すること。 |

| 基本教材 2   |   |
|----------|---|
| 区分       |   |
| 教材の概要    | 著者名： 村上春樹<br>教材名： 『若い読者のための短編小説案内』（文春文庫、2004年10月）<br>ISBN4-16-750207-0 448円＋税   |
|          | 戦中に青年期を過ごし、従軍経験を持ち、戦後数年してから作品を発表し始めた「第三の新人」と文学史上言われている吉行淳之介、小島信夫、安岡章太郎、庄野潤三などの小説をアメリカのプリンストン大学で村上春樹が講義した講義録をもとにした小説案内。  |
| 参考図書     | 安岡章太郎『ガラスの靴 悪い仲間』（講談社文芸文庫、2014年12月）<br>小島信夫『アメリカン・スクール』（新潮文庫、2008年1月）<br>庄野潤三『撫 静物 庄野潤三初期作品集』愛（講談社文芸文庫、2014年4月）<br>江藤淳『成熟と喪失 “母”の崩壊』（講談社文芸文庫、1993年10月）  |
| 履修上のポイント | 日本現代文学を精緻に読みこなすために、作品に多く触れてほしい。教材は戦後（1949年）生まれの村上春樹が「戦後」社会を考えていくうえで、感受性の強い青年期を戦中に過ごし、応召され従軍経験を持つ第三の新人の描いた優れた短編作品に注目して厳選し、その作品の中核を分析している。教材は村上春樹がアメリカの大学院での講義が元になっている。村上春樹がなぜ彼らを選んだのか考察を加えつつ、3人の作家・作品の特徴を捉え、その作品が文学史に残っている意味を十分考察するように留意してほしい。 |
| レポート課題 1 | 安岡章太郎、小島信夫、庄野潤三の作品から一つ選び、戦後社会においてこの作品の持つ意味を2000字～3000字で論じなさい。<br><b>留意点：</b> この作品の持つ深層を彫り上げて捉えること。  |
| レポート課題 2 | 教材で取りあげられている『ガラスの靴』『馬』『静物』から一つ選び、戦後社会においてこの作品の持つ意味を「アメリカ」との関係性を軸にして3000字～4000字で論じなさい。<br><b>留意点：</b> 作中に出てくる〈アメリカの影〉をしっかりと捉えること。  |